

論文タイトル: Compliance study of contact lens wearers in Japan. Part 1: Internet survey of actual circumstances of lens use 日本におけるコンタクトレンズ装用者のコンプライアンス研究 その1: レンズ使用状況のインターネット調査.

掲載雑誌、年、巻、頁: Eye Contact Lens 2014;40(3):169-174.

著者名(所属): Ichijima H(メニコン)、Shimamoto S、Ariwaka Y(島本眼科)、Muraki K(メニコン)、Cavanagh HD(テキサス大学)

概要:コンタクトレンズ(CL)装用者のCL選択は、価格依存の傾向があります。CL使用に関しては不遵守行為を自覚していても不遵守をするユーザーが多いことが分かりました。眼科医およびCLメーカーは、連携して、安全なレンズ使用に関する指導/啓発をするべきです。

近年、CL関連の眼合併症が多発しており、重篤な角膜感染症では失明に至る場合もあります。CLは高度管理医療機器であるにもかかわらず、CLユーザーの中にはCLを日用品のように扱う方もしばしば散見されます。本研究では、インターネットにより、日本国内の1,000人のCLユーザーにCL購入/変更の状況、使用期間の遵守、眼のトラブルの状況などをアンケート調査しました。

その結果、女性636人、男性364人の回答が得られました。CL購入チャネル(図1)の第1位は、CL専門店(41.3%)でした。CL種類(図2)は、2週間頻回交換ソフトCL(2WFR SCL)(32.1%)、1日使い捨て(DD)SCL(31.0%)などでした。購入の決め手は、主に「値段」(38.0%)、「医師/販売員の勧め」(37.6%)、「装用感」(34.1%)でした。CLを変更したユーザーは372人であり、主な変更理由は「値段が安かったから」(34.9%)および「医師/販売員の勧め」(31.2%)でした。DD、2WFRおよび定期交換SCLでは、ユーザー632人のうち270人(42.7%)が推奨される使用期間を遵守し、残りは不遵守を自覚して使用期間を延長していました(図3)。不遵守の主な理由は「使用期間を超えて使っても大丈夫だと思った」(60.3%)でした。眼のトラブル経験者は、1,000人中373人でした。眼のトラブルで52.3%は眼科を受診していますが、28.3%は装用を中止して様子を見る、0.5%は我慢してCLを使う、などの回答でした。眼のトラブルの治癒期間は、51.2%が6日以内でしたが、32.7%が1週間から1か月以内、6.4%は1か月以上、などでした。

以上より、CLユーザーのCL選択は、価格依存の傾向があります。CL使用に関しては不遵守行為を自覚していても不遵守行為をするユーザーが多いことが分かりました。眼科医およびCLメーカーは、連携して、安全なレンズ使用に関するガイドラインの遵守が重要であることの認識を向上させるように指導/啓発するべきです。

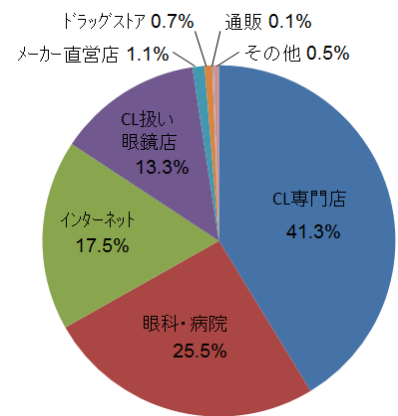


図1 CL購入チャネル

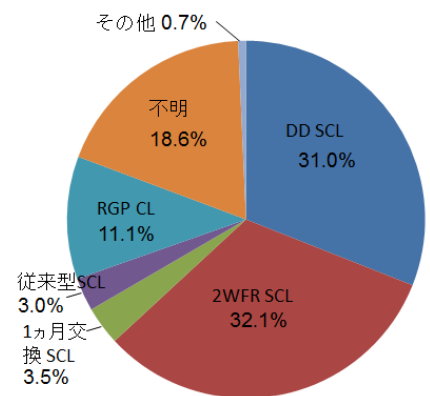


図2 使用CLの種類

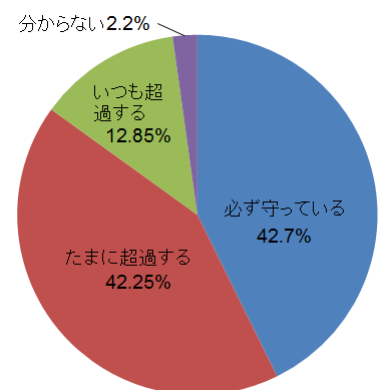


図3 CL使用期間の遵守